

2024年(令和6年)5月オホーツク管内倒産集計

令和6年6月4日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

年初から連続の発生 累積件数・金額ともに前年比増

発生件数1件、負債総額3,594万円

■前月比	件数	1件減少(2024年 4月	2件)
	負債総額	4億8,434万円減少(5億2,028万円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	1件減少(2023年 5月	2件)
	負債総額	2,581万円減少(6,175万円)

2024年5月の発生状況

2024年5月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生1件、負債総額3,594万円。前月と比較し件数、負債総額は共に減少。前年同月比も件数・負債総額ともに減少となった。発生企業は網走市の建設業者(土木工事業)。地元事業者からの下請けで土木工事を受注し、ピーク時の年商は50百万円弱の水準を計上したが、直近は30百万円まで減少。収益性も乏しく債務超過に転落。資金調達が限界に達し、今年3月には全従業員が退職して事業継続が困難となり、自己破産申請の措置となった。

直近5ヶ年の5月の発生状況は19年1件、20年1件、21年1件、22年ゼロ件、23年2件の推移で、平均発生件数は1.0件、同負債総額は9,215万円。今年は直近5ヶ年の平均値を下回っている。

2024年1～5月の発生推移

過去5年間の1～5月の発生推移は【右・表】の通り。平均発生件数は4.8件。同負債総額は4億8,313万円。

今年は前年、前々年と比較して件数・負債額ともに増加。過去5ヶ年の中でも20年に次ぐペースでの発生が見られており、倒産増加の兆候が顕著となっている。

過去5年間と今年1～5月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2019年	4件	2億5,090万円
2020年	7件	11億8,600万円
2021年	7件	5億9,700万円
2022年	0件	0円
2023年	6件	3億8,175万円
2024年	7件	9億3,414万円

今後の見通しと問題点

国内全体では、個人消費やインバウンドを中心とした観光産業などで活発な動きが見られる一方、エネルギー・原材料価格の高騰や深刻な人手不足など企業活動におけるマイナス要素の根は深い。また、2024年問題による影響も各業界に重くのしかかり、さらには日銀によるマイナス金利解除や円安基調による為替相場の動向が中小事業者にどのような影響を及ぼすのか、先行き不透明感が拭えない。

ここオホーツク管内は、年初から5か月連続で倒産が発生するなど重苦しい雰囲気が続く。運送・建設業界などは時間外労働の上限規制や人手不足の影響が深刻化し、苦戦を強いられる事業者の声も聞かれる。昨年5月のコロナ5類移行からおよそ1年が経過し、地域における景気回復への気運は大いに高まっているが、一部業界では未だコロナの後遺症で苦しむ事業者も見られており、今後も予断は許さない見通しだ。

